

【 事業所向け 児童発達支援自己評価表 】

R6.3.22

児童発達支援事業所 のびるばびーす（職員5名）

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか。	3	2		
	2	職員の配置数は適切であるか。	5			
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか。		5		
業務 改善	4	業務改善を進めるためのPCDAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	1	4		その都度、職員で相談し合い知恵を分けてもらっている。 悩みが溜まらないよう心がけてもらえている。
	5	保護者等向け評価表により、保護者に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか。	4	1		今後さらに充実させていく予定です。
	6	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともにその結果による支援の質の評価および改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか。		4	1	今回の自己評価を踏まえて行う。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	4		
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか。	4	1		
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	5			
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか。	5			
	11	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援」、「家族支援」、「地域支援	3	2		

適切な支援の内容	11	」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	4		
	12	児童発達支援計画に沿った支援が行なわれているか。	4	1		計画確認や支援方法について他職員と情報周知を徹底している。
	13	活動プログラムの立案をチームで行なっているか。	2	3		
	14	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5			月間予定や発達単元項目を確認しながら決めるようにしている。
	15	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成しているか。	5			
	16	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか。	3	2		特にグループでは支援方法を職員間で統一できるよう、よく確認していきたい。 職員間での共有がしっかりできるように努めたい。
	17	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日に行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	2	3		個別の振り返りも強化していきたい。
	18	日々の支援に関して正しく記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5			
	19	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか。	5			
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか。	5			
	21	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか。	4	1		
関係	22	医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等の在宅支援のために、地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携しながら、支援を行っているか。		5		まだ対象児童がいない。 対象児童が利用となった場合には連携していきたい。
		医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子どもを受け入れ				

機 関 や 保 護 者 と の 連 携 関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	23	る場合は、子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか。	1	4		
	24	保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で移行に向けた支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4	1		
	25	小学校や特別支援学校（小学部）との間で、移行に向けた支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	2	2	1	
	26	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか。	2	2	1	
	27	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか。		2	3	
	28	（自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。		2	3	
	29	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5			
	30	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレントトレーニング等）の支援を行っているか。	1	2	2	児発管が保護者からの相談にいつも対応している。 児の支援に繋がっている。

保	31	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4	1		
	32	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	5			
	33	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	5			

保護者への説明責任等	34	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により保護者同士の連携を支援しているか。		2	3	
	35	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に、迅速かつ適切に対応しているか。	4	1		
	36	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	4	1		
	37	個人情報の取扱いに十分注意をしているか。	5			
	38	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4	1		
	39	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		1	4	
	40	緊急対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	1	4		保護者に周知することを知らなかった。 今後、定期開催していく。

非常時等の対応	41	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他、必要な訓練を行なっているか。		4	1	避難計画は立案されている。 定期訓練は今後行う。
	42	事前に、予防接種やてんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	3	2		
	43	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	1	2	2	食事の提供をしていない。 医師の指示書が必要なのを知らなかった。 おやつ等の提供がない。
	44	ヒヤリハット事例集を作成して、事業所内で共有しているか。	5			
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4	1		
			どのような場合にやむを得ず身体			

46	拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で児童発達支援計画に記載しているか。	5			
----	--------------------------------------------------------------	---	--	--	--